

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成20年度 農林水産大臣賞 受賞	受賞者名	特定非営利活動法人 地域循環ネットワーク
	所在地	新潟県長岡市
	受賞テーマ	生活者による地域循環型社会へのチャレンジ — 学校・家庭に肉がもどり、飲食店に割り箸がもどってくる —
	1. 活動継続 あり	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食調理残さ再生利用事業：終了 家庭生ごみリサイクル事業：終了 割り箸リサイクルと炭焼事業：継続中。パルプや炭として資源の有効活用を啓発。 <p>(受賞以降の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済みカイロの回収とリサイクル事業：継続中。下記「活動の進化」参照。
2. 活動の広がり あり	<p>使用済み割り箸回収拠点となる協力公民館を拡大。イベント参加を積極的に行い啓発に努めている。大学生のインターンやボランティアも毎年受け入れている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">出前授業の様子</p>	
3. 活動の進化 あり	<p>平成23年から使用済みカイロの回収とリサイクルに取り組んでいる。毎年12月～5月まで実施し、地域の公民館十数か所を拠点として誰でも参加できるようにしている。ただし持ち込みの際にはカイロのパックを切って取り出した中身の粉だけを回収対象とし、理解と協力を呼びかけている。企業参加もある。期間中に約2～3tを回収し、鉄資源としてリサイクルしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>出し方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>① 袋を切って 中身を出す</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>② ビニール袋に 入れる</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③ 回収箱に 持ち込む</p>  </div> </div> <p>●●出すときの注意●●</p> <ul style="list-style-type: none"> 中身とは、使用済みの使い捨てカイロの袋から出る黒茶色の粉や塊のことです。切った袋は「生ごみ」に出してください。 使用期限切れのカイロも回収しています。ただし、必ず袋材の封を破り、数時間放置し、十分に熱を冷ました上で中身を出してください。 期間外は回収しません。次回の冬までご自宅で保管してください。 <p>●●回収箱のある施設●● (〇はコミュニティセンターの略です)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新訂〇 ・大島〇 ・表町〇 ・上川西〇 ・川崎〇(分館) ・神田〇 ・黒糸〇 阪之上〇 ・四郎丸〇 ・新橋〇 ・関原〇 ・豊田〇 ・中島〇 ながおか市民協働センター(アオーレ長岡内) ・地域循環ネットワーク事務局 </div> <p style="text-align: center;">使用済みカイロ回収の手引き</p>	
4. 今後の計画	<p>いずれの事業も経過を見ながら時代に合った活動を行っていく。ごみから資源に積極的に取り組んでいく。</p>	

(次頁に表彰概要を掲載)

【表彰概要】

●給食調理残さリサイクル事業

長岡市内の学校等から出る調理残さを回収し、家畜飼料にする取組を実施している。協力畜産農家の拡大、回収ボランティアの育成、給食調理員への分別指導等により取組範囲を拡大し、現在、市内の保育園、小中学校、養護学校等 112 箇所から回収している。残さは、乾燥処理後に 3 戸の養豚農家に提供し、残さ飼料を用いて生産された豚肉は、農家の直売店や地域のスーパーマーケットで市販される他、給食材料に使用される（平成 14 年からは長岡市の委託事業として実施）。

●家庭生ごみリサイクル事業

ネットワークの会員家庭で乾燥処理した生ごみを回収し、飼料として畜産農家へ提供している。回収は市民ボランティアによって月 1 回行われ、会員家庭には乾燥生ごみ飼料で肥育した豚肉を提供している。

●割り箸リサイクルと炭焼事業

長岡市のネットワーク会員飲食店から割り箸を回収し、製紙原料や炭にリサイクルしている。年間の収集数は約 400 万本で、そのうち約 100 万本が製紙原料に使用、約 300 万本は割り箸炭にして 200 g 100 円で市内の飲食店等で販売し、売上金はリサイクル事業の一部に充てている。

●その他啓発活動

- ・市内の小・中・高等学校の総合学習授業へ講師を派遣し、環境・食育啓発を実施。
- ・地域のコミュニティーセンターで環境講座を開講し、住民の 3 R への理解を促進。
- ・上記リサイクル活動を長岡技術科学大学のカリキュラムに組み込み、大学生の環境マインドを醸成。



給食残さ回収作業



給食残さ飼料によって肥育された豚